



H - Aロケット8号機による 陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)の 打上げ延期について

平成18年1月18日

宇宙航空研究開発機構
宇宙基幹システム本部

打上げ準備作業の状況について

- 宇宙航空研究開発機構は、種子島宇宙センターからの陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS) / H - Aロケット8号機(H - A・F8)の打上げを平成18年1月19日に予定したが、昨日(17日)のY - 1作業(*1)において、ロケット搭載機器の一部(*2)に不適合が確認され、良品と交換することとしたため、打上げを延期を決定した。
 - (*1) 打上げの前日の作業(今号機は打上げ当日の作業が2日間に渡るため、前々日となる。)
 - (*2) テレメータ送信機: ロケットの飛行状況のデータを地上に送信する機器
- 新たな打上げ日については、上記不適合に係る対策の処置に要する時間を考慮し、打上げまでのスケジュールを見直しを実施することと併せて、打上げ日を再設定する。

H - II A ロケット 8 号機の搭載機器の不適合について

Y-1の作業において発生したロケット搭載機器の不適合について、以下に示す。

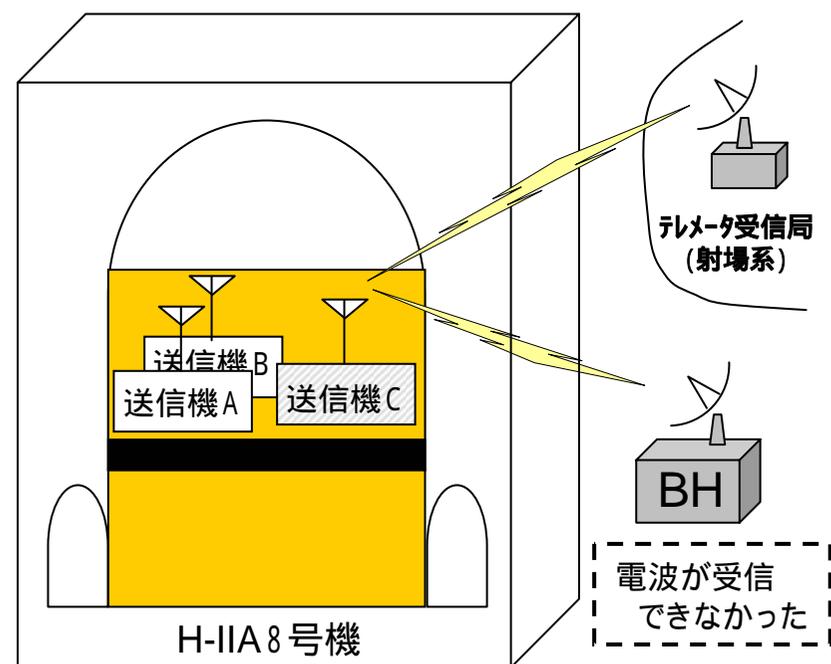
【不適合が発生した箇所】

テレメータ送信機

- 第2段部分に搭載している3台の送信機の中の1台。
- ロケットの飛行状況のデータを地上に送信する。

【不適合の概要】

- 電波系の点検を実施したところ、送信機からの電波が、ブロックハウスおよびテレメータ受信局ともに、受信できなかった。
- 不適合の調査段階において、送信機の電源を複数回Off / Onし 電波の受信状態を再確認した結果、正常に電波を受信できる状態であることを確認した。
- 不適合を起こした送信機については、工場へ返送して調査を実施する。
- 対策の処置に要する時間を考慮し、打上げまでのスケジュールを見直す。



【電波系点検時の状況】

(参考)テレメータ送信機 概要図

